

多民族国家パキスタンの歴史観と国民像：学校教育において共有される言説の事例を通して

須永恵美子 SUNAGA Emiko  
京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 博士一貫課程5年  
日本学術振興会特別研究員 (DC)  
sunaga@asafas.kyoto-u.ac.jp

- I. はじめに
  - II. パキスタンにおける教育の概観
  - III. パキスタンの教科書
  - IV. 分析対象の教科書概要
  - V. 教科書に表れる歴史認識
  - VI. おわりに
  - VII. 参照文献
  - VIII. 参考資料
- 

## I. はじめに

### I-1. 本発表の目的

パキスタンの教科書において、現在までのイスラム社会がどのように描かれ、評価されているのかを分析し、その特徴や通時制を明らかにする。特に、現在パキスタンで問題意識が共有され、取り上げられることの多い (1) イスラーム王朝史、(2) イギリス植民地支配と独立運動、(3) カシュミール問題とバングラデシュ独立、(4) 諸民族・諸宗教の平等の4項目に焦点を絞り、記述を検討する。

### I-2. 本発表の意義

教科書に表出する言説を分析することは、パキスタンのイスラーム認識や自国史観の一端を明らかにすることにつながる。パキスタンでは学年が上がるにつれて進学率が低くなっている。このため、初等教育の教科書は、パキスタン国内で最も広範に共有されている本であり、かつ、彼らの思想教育に一定程度の影響を与えていると推測される。

### I-3. 本発表の背景：国民像の必要性

#### ■理由1：多言語・多民族

「多くの犠牲を払ってきたすべてのイスラム民族 (Muslim Nation) のためのホームランド」  
(独立にあたり国民に向けたジンナーのメッセージ) [GoPMIB 1989: 55-56]  
→多民族・多言語・多宗派国家として建国したパキスタンをいかに統合するかが課題

#### ■理由2：国力への不信

・度重なる国民統合の失敗 [Jahan 1972; Hussain 2007] →政府という中枢の求心力の欠如  
→愛国心の抛り所に

#### ■理由3：イスラームという紐帯への嫌疑

・バングラデシュの独立

### I-3. 本発表の手法

- ・パキスタンのパンジャブ州とスィンド州で使用されている教科書の分析<sup>1</sup>
- ・公立の初等学校1年生から12年生
- ・社会科/パキスタン学、ウルドゥー語 (国語)

---

<sup>1</sup> パンジャブ州とスィンド州をあわせると、パキスタン全人口の約8割を占める。一方、面積では両州あわせて5割に満たない。これは、パンジャブ州とスィンド州の都市部に人口が集中し、また、ハイバル・パフトゥーン・フワー州とバローチスターン州の大半が人の住みづらい山岳地帯であることに起因する。詳しくは 参考資料 VIII-2 参照。

## II. パキスタンにおける教育の概観

### II-1. パキスタンの教育史

- 1947 パキスタン・イスラーム共和国建国（8月14日）  
最初の国家教育会議（11月）[Aly 2007: 79]  
→新国家の資金・インフラ不足が浮き彫りに
- 1956 第1次憲法成立<sup>2</sup>  
→ウルドゥー語、ベンガーリー語が国語に指定
- 1959 国家教育委員会が設立…アイユーブ政権  
→10年以内に初等教育の義務化を決議したが、未履行
- 1966 西パキスタン教科書委員会（ラホール）、東パキスタン教科書委員会設置（ダッカ）  
歴史の授業が廃止  
→社会科とパキスタン学<sup>3</sup>に置き換えられる<sup>3</sup>
- 1971 バングラデシュ独立（12月）  
→教育言語をウルドゥー語に一本化  
各州に教科書委員会を設置（パンジャーブ、スィンド、バローチスタン、北西辺境州<sup>4</sup>）
- 1972 72年教育政策…Z.A.ブットー政権  
→学校・教育の国営化<sup>5</sup> [Burki 1991: 167; 山中 1992: 86-88]
- 1979 79年新教育政策…ズィヤー政権  
→教育のイスラーム化<sup>6</sup>、モスク・マドラサの活用 [Clark 1986; Rahman 1999: 80-83]
- 1992 92年新教育政策…シャリーフ政権  
→学校・教育の民営化

### II-2. 教育の状況

- ・ GDP に対する公的教育支出は 2.0% [UNDP 2004]
- ・ 10歳以上の識字率 58% [GoPSD 2011 (TABLE 2.14(a))より]  
(男性 69% : 女性 46%、都市部 74% : 農村部 49%、パンジャーブ州 60% : スィンド州 59%)
- ・ 就学率 56% [GoPSD 2011 (TABLE 2.6(a))より]  
(男性 60% : 女性 53%、都市部 66% : 農村部 53%、パンジャーブ州 61% : スィンド州 53%)
- ・ 連邦政府教育省のもと、各州の教育委員会が管理・運営
- ・ 公立<sup>7</sup>/私立/マドラサ（コミュニティ、宗派ごと）<sup>8</sup>
- ・ 有償教育（教科書は生徒負担）<sup>9</sup>

<sup>2</sup> 憲法第 251 条によって、パキスタンの公用語はウルドゥー語と定められている。ただし、この条項にはウルドゥー語の準備が整うまで英語を公用の目的のために使用することができることも補足されている。現在まで、ウルドゥー語への統一は達成されていない。

<sup>3</sup> 1年生から8年生までが「社会科 Ma'āshratī 'Ulūm / Social Studies」、9-12年生までが「パキスタン学 Muṭāla'ah-e Pākistān / Pakistan Studies」になった [Aziz 1993: 2]。

<sup>4</sup> 現ハイバル・パシュトゥーン・フワー州。

<sup>5</sup> 1972年には19,432校の教育機関が国営化された。内訳は18,926校が通常の学校で、マドラサは346校、カレッジは155校、専門学校が5校含まれていた [Aly 2007: 81-82]。

<sup>6</sup> 具体的な方針は、以下の7つである。1) 音楽は学校で教えられるべきではない。2) 中等教育まではムスリムの教師が教鞭をとるべきである。3) 反イスラームの立場をとる教師は学校から追放されるべきである。4) 女性教師は髪を切ってはいけない。5) カレッジにおいてイスラーム学、パキスタン学、経済、軍事教育を必修科目とする。6) イスラーム学の授業の中で、ジハードについては特に学習されるべきである。7) 教師は教室内でパキスタンのイデオロギーに反する発言をしてはいけない [Rahman 1999: 83]。

<sup>7</sup> 教育省の統計資料では、公立学校は政府学校 (Governmental School)、私立学校は民間学校 (Private School)、マドラサはインフォーマル・セクター (Informal Sector) と分類される。パキスタン教育省の統計によると、初等教育から大学教育までの国内の学校数は約25万校で、全体で見ると7割が公立学校である。ただし、その内訳を見ると、初等教育では1割しかなかった私立学校が大学では全体の5割になり、学年が上がるにつれて私立学校の占める割合が増えている。

<sup>8</sup> パキスタンのマドラサには、大きく二つの系統ある。一つは、聖典クルアーンやアラビア語のみを教える、いわゆる宗教学校としてのマドラサである。この学校には、寄宿舎を備えた大規模なものから、公立学校の放課後にウラマーの個人邸宅で行われる小規模なものまで、様々な形態がみられる。もう一つは、政府の認可を受け、政府のカリキュラムを採用しているマドラサである。ここでは、科学や数学、英語なども教えられ、卒業学位は通常の公立学校と同様に認められる。

<sup>9</sup> パンジャーブ州は授業料を無償と掲げているものの、実施状況は不明である。

・初級学校 (Primary 5-10 歳)、初等学校 (Middle 11-13 歳)、中等学校 (Secondary 14-16 歳)、高等学校 (Higher Secondary / Inter Colleges 16-18 歳)、カレッジ (Degree Colleges)、総合大学 (Universities)、技術学校・職業訓練校 (Secondary Technical / Vocational Institutions)

・科目：ウルドゥー語 (国語)、英語、数学、理科、パキスタン学、イスラーム学<sup>10</sup>など [松村 2003: 113]

### II-3. パキスタンの教育言語

#### ■教育言語：ウルドゥー語

- ・基本的に地方語は使わず、国語ウルドゥー語で授業を行う (教科書もウルドゥー語)<sup>11</sup>
  - 母語話者はわずか 8% でありながら、全国的に共通語として理解されている
  - スィンド州では、低学年のうちにはスィンディー語を使っている

#### ■ウルドゥー語の評価：ウルドゥー語は単なる国語ではなく「イスラミック・ランゲージ」 [Rahman 2006]

- ・出版をベースとしたウルドゥー語のネットワーク [山根 1994; Aqeel 2009]
- ・19 世紀のイスラーム改革主義者によるウルドゥー語での執筆活動
- ・マウドゥーディー<sup>12</sup>、ジャマーアテ・イスラーミー<sup>13</sup>らによるウルドゥー語での宗教活動

「わたしたちはみんな学校で勉強しています。そしてとても楽しく遊んでいます。わたしたちはみんなウルドゥー urdū を話します。これはわたしたちの国語 qaumī zabān です。わたしたちの国 waṭan には 4 つの州があります。スィンド、パンジャーブ、北西辺境州、バローチスターンです。わたしたちは州の言葉 šūbe ki zabān も学んで、話しています」

[スィンド ウルドゥー語 4 年生]

「パキスタンはわたしたちの愛しい祖国 waṭan です。わたしたちの国語 qaumī zabān はウルドゥー urdū です。そのため、パキスタン人はみんなウルドゥー語 urdū zabān を話して、読んで、書いて、学ぶのです。国語の他に、パキスタンにはとてもたくさんの言語 qaumī zabān が話されています。そのため、ウルドゥー語 urdū zabān はとても重要なのです。一部の人々は、他の州の地域言語 ‘ilāqā’ī zabān も学んでいます」

[パンジャーブ 社会科 5 年生]

「ウルドゥー語は高度に発達した言語である。その特徴はアラビア語、ペルシア語、トルコ語、その他南アジアの諸言語からだけでなく、ヨーロッパの言語までも借用語としてウルドゥー語に取り込めることである」

[パンジャーブ パキスタン学 9-10 年生]

## III. パキスタンの教科書

### III-1. 教科書の現状

#### ■出版過程：各州の教育委員会が作成<sup>14</sup> [‘Abbās 1993: 54-55]

教育省カリキュラム局 (National Curriculum Bureaus) ... シラバス作成

→教育委員会 (州) ... 具体的な内容の検討

→専門家 (教育委員会と民間からなるグループ) ... 執筆

→教育委員会...内容の検討、編集

<sup>10</sup> パキスタンでは、憲法によって国教はイスラームと定められている。学校教育の場においても、初等教育から高等教育まで、イスラーム学が必修である。イスラーム学 (Islāmīyāt) は、イスラームの歴史、クルアーンに使われているアラビア語や、クルアーンの内容、イスラーム的道德観などを学習する科目。ただし、非ムスリムの学生には、別教室で「道德」の授業を受けさせる配慮がなされている。その際に使用する教科書は *Value Education For Children* など、一般的な道德について教えている。この教科書において、イスラームは否定されているわけではない。例えば、礼拝がトピックの課では、モスク、教会、シク寺院、ヒンドゥー寺院の礼拝などを比較させる形で、それぞれの宗教を紹介している [Yasmin 2007]。

<sup>11</sup> 州政府の規制を受けない私立学校では、英語が使われていることが多い。また、大学やカレッジでは、入学試験が英語で行われるため、英語ができなければ高等教育を受けることは困難である。

<sup>12</sup> Saiyid Abū al-A‘alā Maudūdī 1903-1979. 雑誌『クルアーンのタルジュマーン』を編纂。

<sup>13</sup> Jamā‘at-e Islāmī. パキスタンの非ウラマー系イスラーム団体・政党。1941 年マウドゥーディーの呼びかけにより結成。

<sup>14</sup> 各州の教育委員会が、1 年生から 12 年生までの教科書作成を担当。大学を含む 13 年生以上の高等教育では、民間の出版社や大学自身が独自の教科書を作成している [‘Abbās 1993: 54]。

→教育省...検閲、認定 [Aly 2007: 80]

→出版業者（民間）...印刷、流通

#### ■教科書の流通度

- ・各州の生徒数と発行部数から推測<sup>15</sup>

### III-2. パキスタンにおける教科書の評価

「国家のアジェンダは、歴史・パキスタン学・言語学（ウルドゥー語）の教科書を通じて流布される。それは民族アイデンティティを捨て、軍国主義を擁護する、愛国的なパキスタン人を育成することを目的としている」 [Rahman 2000: 18]

「教科書は遺漏、誤り、生徒がヒンドゥーを憎悪するように仕向ける論調を含んでおり、さらには過分に愛国主義的で軍国主義的である。また、戦争や暴力を賞賛しており、平和的解決よりも力による闘争を好むように仕向けている。これらの教科書においては、若者に反ヒンドゥー、反インド、戦争賛成、熱狂的な精神を埋め込むための手段として、イスラームを利用し、正当化している」 [Rahman 2002: 119]

「政府の教科書を使わなくてはならない公立学校の『不幸な』生徒たち」 [Nayyar 2004: 123]

### III-3. パキスタンにおける教科書の位置づけ

#### ■副読本がない

- ・インフラの整っていない発展途上国ほど、一冊の教科書に依存する傾向が強い [‘Abbās 1993: 27-28]
- 教師もシラバスを所有しておらず、教科書を読み上げるだけ<sup>16</sup>

#### ■暗記中心の授業

- ・授業やテストを通して教科書の内容を正確に暗証・反復する授業方法により、教科書は「パキスタンの生徒の小さな世界にとって絶対的な支配力を持っている」 [Aziz 1993: 1]
- 「誤用」や「プロパガンダ」の刷り込み

## IV. 分析対象の教科書概要

#### ■ウルドゥー語（国語）<sup>17</sup>

#### ■社会科／パキスタン学

#### ■低学年...挿絵、カラー印刷<sup>18</sup>

#### ■高学年...文字数増加<sup>19</sup>、白黒

→地図や年表、図表は少ない

#### ■表紙の内側か裏表紙に国歌（Qaumī Tarānah）、ジンナーの演説文<sup>20</sup>、肖像画

<sup>15</sup> パンジャーブ教科書委員会の教科書には、執筆者や編集委員の名前と一緒に発行部数も掲載されている。例えば、ウルドゥー語 1 年生の教科書は初版で、増刷が 7 回されており、印刷発行部数は 26,000 部、金額は 23 パキスタンルピー（約 25 円）である [PTBB n.d.(2008)a]。また、ウルドゥー語 6 年生は改定第 2 版で、増刷が 11 回、印刷発行部数が 26,250 部で、一冊 50 パキスタンルピー（約 55 円）であることがわかる [PTBBa 2003]。

<sup>16</sup> 発表者のフィールド調査（2007 年 9 月）によると、生徒の手にする教科書と、教師の手にする教科書は同一のものであり、日本のような教師専用の教科書は存在しない。各課の最後に数行の「教師へのアドバイス」が何ヶ所か確認できるが、全編や全学年にわたって網羅されているわけではない。

<sup>17</sup> 言語としてのウルドゥー語を教える授業は、「国語 Qaumī Zabān」ではなく「ウルドゥー語 Urdū」と呼ばれる。

<sup>18</sup> スィンド州 2 年生用のウルドゥー語では、108 ページ中、86 ページに動物や車などのイラストが挿入されており、すべてカラーページである [STBB 2003a]。一方、8 年生では 150 ページ中 15 ページにジンナーなどの写真やイラストが挿入されており、表紙以外は白黒印刷である [STBB 2003f]。

<sup>19</sup> このうち、ウルドゥー語教科書のページ数の平均は、1 年生では 40 ページ、2 年生では 96 ページ、3 年生では 112 ページ、4 年生で 90 ページ、5 年生では 74 ページ、6 年生では 140 ページと、増えていく。また、各課のページ数の平均は、1 年生で 1 課が 2.2 ページ、2 年生では 2.4 ページ、3 年生では 2.6 ページ、6 年生で 2.7 ページと、さほど増加は見られないが、文字が格段に細くなっていくため分量は増えている。

<sup>20</sup> 演説文は 1947 年 9 月 26 日の講演会の場で、パキスタンにおける教育の重要性を説いたものである。演説はもともと英語でなされており、英語で書かれた教科書では原文のまま、ウルドゥー語教科書では、ウルドゥー語に翻訳されている [PTBB 2002; 2003; 2006a; 2006b; n.d.(2008)a; n.d.(2008)b; n.d.(2008)c; SSAS n.d.a; n.d.b]。

#### IV-1. ウルドゥー語の教科書について

1-4年生...『授業の本 *Darsī Kitāb*』『わたしの本 *Merī Kitāb*』

3年生以上...『ウルドゥー語 *Urdū*』

9-10年生...『ウルドゥー語の文法と作文 *Urdū Qavā'id wo Inshā*』

- 内容：読み物を通じたウルドゥー語読解能力を高める  
イスラームについての読み物<sup>21</sup>／パキスタンの歴史／詩／  
社会に関する読み物／道徳的な読み物／アラビア語の基礎など

#### ■目次 (...以下は発表者の解説)

[パンジャーブ ウルドゥー語 1年生]『わたしの本 *Merī Kitāb*』

- 第 1 課 神への賛美... (詩)
- 第 2 課 親愛なる預言者... (預言者ムハンマドの賛歌)
- 第 3 課 アッラーの最後の書... (聖典クルアーンについて)
- 第 4 課 アラビア文字... (アラビア語の文字の学習)
- 第 5 課 礼拝... (アザーンからモスクに礼拝に行くまで)
- 第 6 課 わたしたちはひとつです... (4つの民族とパキスタン人としての統一)
- 第 7 課 日常会話でのあいさつ... (挨拶を交わす二人の少女のやり取り)
- 第 8 課 正直者... (詩。嘘をつかないことについて)
- 第 9 課 すばらしい!... (早起きをした少年を教師が褒める)
- 第 10 課 保護... (手洗い、うがいなどの推奨)
- 第 11 課 黒い雲がやってくる... (詩。雨の喜び)
- 第 12 課 健康と清潔... (清潔にすることによって病気を避ける)
- 第 13 課 旅... (少年が乗り物に乗って結婚式へと向かう)
- 第 14 課 アッラーの恩恵... (太陽とアッラー)
- 第 15 課 動物と木... (牛、ヤギなど動物の紹介)
- 第 16 課 わたしたちの家... (ある子供の家について)
- 第 17 課 わたしたちの学校... (学校の日)
- 第 18 課 わたしたちの国 (詩)

[PTBB n.d.(2008)a]

[パンジャーブ ウルドゥー語 2年生]『授業の本 *Darsī Kitāb*』

- 第 1 課 わたしの神... (詩)
- 第 2 課 アッラーの恩寵
- 第 3 課 わたしたちの親愛なる預言者
- 第 4 課 わたしたちの預言者... (預言者ムハンマドの賛歌)
- 第 5 課 犠牲祭... (イスラーム暦ズ・ル・ヒッジヤ月 10 日の祭)
- 第 6 課 偉大なる指導者
- 第 7 課 日々の礼拝... (親子で日々の礼拝の意義について語る)
- 第 8 課 良い仕事... (男の子が自分の父親を手伝う)
- 第 9 課 わたしたちの土地... (詩)
- 第 10 課 空気と水
- 第 11 課 独立記念日... (8月14日について)
- 第 12 課 わたしたちの隣人... (隣近所の住人といたわり合う事)
- 第 13 課 わたしたちの土地... (地形、土壌、そこに住む生き物など)
- 第 14 課 工場
- 第 15 課 ムッヌーおじさん... (詩)
- 第 16 課 わたしは誰でしょう

<sup>21</sup> ウルドゥー語教科書の中で、イスラームに関するトピックの多さは傑出している。どの学年でも、第 1 課は神を賛美する詩が取り上げられており、第 2 課は預言者ムハンマドを讃える文章である [PTBB 2003a; 2004; 2005; 2006; n.d.(2008)a; n.d.(2008)b; n.d.(2008)c; n.d.(2008)d; STBB 2003a; 2003b; 2003c; 2003d; 2003e; 2003f; 2003g]。このほかにも、クルアーンについてや [PTBB n.d.(2008)a: 4; n.d.(2008)b: 13; n.d.(2008)c: 45]、ナマーズ(礼拝)の方法 [PTBB n.d.(2008)b: 79; n.d.(2008)c: 42]、ムスリムとして正しく生きること [STBB 2003d: 41-45; PTBB n.d.(2008)d: 83] などをテーマとした文章が多い。挿絵ではカアバ神殿 [STBB 2003c: 10; PTBB 2006: 1] やモスク [STBB 2003a: 9; PTBB 2006: 19] などが描かれている。

- 第 17 課 アッラーマ・イクバル
- 第 18 課 わたしたちの栄養
- 第 19 課 さあ、木で作ろう
- 第 20 課 列車の旅
- 第 21 課 考えてみたら…… (詩)
- 第 22 課 わたしたちの街
- 第 23 課 太陽が登って世界が起きた… (詩)
- 第 24 課 動物
- 第 25 課 愛しいパキスタン
- 第 26 課 ハズラト・ラール・シャハバズ・カラダル… (13 世紀のスィンドのスーフィー)
- 第 27 課 空っぽのジャマル・シャーヒー… (同名の子供たちの遊び)
- 第 28 課 わたしたちの町
- 第 29 課 良い男の子
- 第 30 課 小さなひよこ… (詩)
- 第 31 課 偶然の祝福
- 第 32 課 ずる賢い犬… (川面に映る自分の姿を見て骨を落とす犬のイラスト)
- 第 33 課 不意の友達… (ねずみとカエルの話)
- 第 34 課 健康と清潔
- 第 35 課 さあ、何か作りましょう
- 第 36 課 祈り… (詩)
- 第 37 課 アラビア語を学びましょう… (アラビア文字の学習)

[STBB 2003a]

[パンジャーブ ウルドゥー語 4 年生] 『わたしの本 *Merī Kitāb*』

- 第 1 課 神への賛美… (詩)
- 第 2 課 わたしたちの預言者… (預言者ムハンマドの賛歌)
- 第 3 課 独立おめでとう
- 第 4 課 マディーナの人々
- 第 5 課 列を作りましょう… (整列すること)
- 第 6 課 パキスタンの子供たち
- 第 7 課 ナアト… (詩。預言者ムハンマドの賛歌)
- 第 8 課 大工
- 第 9 課 洞窟の岩
- 第 10 課 大きくなったら何になろう… (詩)
- 第 11 課 カバディー
- 第 12 課 蛍… (詩)
- 第 13 課 パキスタンの塔のはなし
- 第 14 課 悪戯への罰… (猫が犬に悪戯をするが、結局猫が痛い目を見るというイラスト)
- 第 15 課 スレイヤーの正直さ
- 第 16 課 アッラーマ・ムハンマド・イクバル
- 第 17 課 若い殉教者… (殉教した青年将校について)
- 第 18 課 一緒になしとげましょう… (鳩が協力して猟師から逃れる)
- 第 19 課 愛… (詩)
- 第 20 課 イスラームの布教… (歴代の預言者や聖者について)
- 第 21 課 アスラムの村
- 第 22 課 健康の秘訣
- 第 23 課 ああ、偉大なる指導者よ… (詩)
- 第 24 課 静かな貢献… (第 2 代カリフ・ウマルの逸話)
- 第 25 課 良い兵隊さん
- 第 26 課 行く時には教えてくれ… (詩。列車について)
- 第 27 課 小さい女の子の大きな仕事
- 第 28 課 正直なおはなし
- 第 29 課 赤三日月社… (イスラーム世界の社会貢献について)

- 第 30 課 ああ、わたしたちの祖国... (詩)
- 第 31 課 ミヤーン・ムハンマド・バフシュ... (19 世紀のパンジャーブのスーフィー聖者)
- 第 32 課 勇敢な農民... (詩)
- 第 33 課 ボランティア
- 第 34 課 善行の復讐
- 第 35 課 電話
- 第 36 課 アーザード・カシュミールの旅
- 第 37 課 ミヤーン・ワリス・シャー... (18 世紀のスーフィー詩人)
- 第 38 課 一匹の牛と一匹のヤギ... (詩)
- 第 39 課 わたしたちの人口
- 第 40 課 物語を書きましょう... (瓶の中にいるねずみを捕まえようとする猫のイラスト)
- 第 41 課 お父さんからの手紙
- 第 42 課 同情... (3 幕からなる寸劇の台本)
- 第 43 課 ハズラト・ウンム・スライマ
- 第 44 課 美しい大地... (詩)

[PTBB n.d.(2008) d]

#### IV-2. 社会科／パキスタン学の教科書について

1-8 年生... 『社会科 *Ma'āshratī 'Ulūm*』

9-12 年生... 『パキスタン学 *Muqāla'ah-e Pākistān*』

##### ■内容：理科・歴史・地理の総合教科

- ・歴史 tārīkh にあたる内容をカバー
  - ・自国中心＝他国／他地域の情報は自国との関係に限る＝断片的な歴史
  - ・紀伝体

##### ■目次

(1) [スインド 社会科 1 年生] 『標準 社会科 *Mi'yārī Ma'āshratī 'Ulūm*』

##### 歴史

- 第 1 課 預言者... (預言者ムハンマドについて)
- 第 2 課 アッラーマ・イクバル... (建国の詩人イクバルについて)
- 第 3 課 偉大なる指導者... (建国の父ジンナーについて)
- 第 4 課 リヤーカト・アリー・ハーン... (初代首相リヤーカトについて)

##### 市民生活

- 第 5 課 道路の歩き方
- 第 6 課 病院
- 第 7 課 モスク
- 第 8 課 清潔なからだ... (預言者にならい、清潔にしていることによって病気を避ける)
- 第 9 課 郵便配達人

##### 地理

- 第 10 課 季節... (四季の名称とその違い)
- 第 11 課 方角
- 第 12 課 パキスタン... (国や州の名前、建国年、首都、主要都市について)
- 第 13 課 国旗... (国旗の色、形、その意味)
- 第 14 課 産業... (農業と工業について)

[SSAS n.d.a]

(2) [スインド 社会科 6 年生] 『社会科 *Ma'āshratī 'Ulūm*』

- 第 1 章 南アジアの概観... (南アジアにおけるパキスタンの地理的重要性)
- 第 2 章 南アジアの地理... (高度、山、平地、砂漠、川、海について)
- 第 3 章 南アジアの気候... (海からの距離、南アジアの気候の特性、モンスーン、寒暖について)
- 第 4 章 南アジアの自然... (ジャングル、水利)
- 第 5 章 南アジアの人口... (南アジアの子供、南アジアの国旗、南アジアの有名な都市)

- 第 6 章 ムスリム到来以前の南アジアの人々... (スィンドの古代文明、アーリヤ人の到来、仏教)  
 第 7 章 南アジアへのイスラームの到来... (711 年のスィンドへのイスラーム到来、各地での戦い)  
 第 8 章 イギリスの南アジア到来... (東インド会社、シャー・ワリー・ウッラー、1857 年の独立戦争)  
 第 9 章 パキスタンの都市の生活... (政府、社会正義、法律と自由)

[STBB 2003j]

(3) [パンジャープ 社会科 6 年生] 『社会科 *Ma'āshratī 'Ulūm*』

- 第 1 章 南アジアの概観—パキスタンの位置... (南アジアの山脈、平原、川、砂漠)  
 第 2 章 南アジアの気候... (海、気候、偏西風の流れ)  
 第 3 章 南アジアの資源... (井戸、灌漑、穀物、タバコの葉、塩)  
 第 4 章 南アジアの人口... (南アジア各地の人口、国旗、パキスタンの都市)  
 第 5 章 ムスリム到来以前の南アジアの社会... (モヘンジョダーロー発掘の歴史、ヒンドゥー支配、仏教)  
 第 6 章 南アジアへのイスラームの到来... (イスラーム伝播、イスラーム文明の普及、イスラーム文化、建築)  
 第 7 章 イギリスの南アジア到来... (東インド会社、1857 年独立戦争、サル・サイイド・アフマド・ハーン)

[PTBB 2003b]

(4) [スィンド パキスタン学 11-12 年生] 『パキスタン学 *Muṭāla'ah-e Pākistān*』

- 第 1 課 パキスタン建国... (パキスタン論、ジンナー、各州での独立運動)  
 第 2 課 パキスタンの歴史... (1939 年から 1948 年の歴史)  
 第 3 課 イスラーム共和国の成立... (パキスタンの成立と憲法制定)  
 第 4 課 パキスタンの大地... (地理、気候、自然)  
 第 5 課 パキスタンの文化... (パキスタンの文化遺産、ラーホール城、音楽など)  
 第 6 課 パキスタンの諸言語... (ウルドゥー、各州の言語、カシュミリー、ブラーフイー)  
 第 7 課 経済計画と発展... (1950 年代から 2000 年の 5 カ年経済計画)  
 第 8 課 パキスタンと同胞世界... (国連、イスラーム諸国首脳会議、経済協力)

[STBB 2002b]

## V. 教科書に表れる歴史認識

### V-1. イスラーム王朝史に関する記述

#### ■～9 世紀頃

- V-1-1. 「今から数千年前、パキスタンの土地にはほんの少しの人々しか住んでいませんでした。当時の人々はジャングルに住んでいて、生活はとても簡素でした」

[パンジャープ 社会科 4 年生]

- V-1-2. 「古代には、中央アジアからアーリヤ人種 *nasl* の人々が行き来していました。アーリヤ人は、戦いにおいて土地の *maqāmī* 人々よりも秀でていました。彼らのもつ武器 *hathiyār* も立派なものでした。そのため、彼らはここの住民 *bāshindah* を自分たちの奴隷 *ghulām* にしました。

古代には、人々はすべてのものを崇拜 *pūja* し、ある種の利益を得たり不利益を届けさせたりしていました。アーリヤ人はこれを女神 *devī* や神 *devtā* と呼ぶようになりました。こうしてヒンドゥー教 *hindūmat* の基礎が築かれました。ヒンドゥー教を信じる人々をヒンドゥー *hindū* と呼びます。

712 年に、アラブ *'arab* の将軍 *sipah sālār* ムハンマド・イブン・カーシム<sup>22</sup>がパキスタン・インド亜大陸を襲撃しました。そしてスィンドを征服し統治 *ḥukūmat* をうちたてました。この出来事から、およそ 500 年後、ムスリムはここに自分たちの政府を作りました。この統治は、英国人の襲撃まで続きました。この間、かなりの人口のヒンドゥーがムスリムに改宗しました。しかし、多くの住民は変わらずに *badastūr* ヒンドゥーであり続けました。ヒンドゥーはムスリムの統治をよく思っていなかったため、ムスリム統治者が強制的にこの国を襲撃したと考えていたのです」

[パンジャープ 社会科 5 年生]

- V-1-3. 「南アジアにおけるムスリム支配の歴史は、712 年のムハンマド・イブン・カーシムのスィンド侵攻から始まった」

[パンジャープ パキスタン学 9-10 年生]

<sup>22</sup> 694-715 頃。8 世紀初めにスィンド地方を征服したウマイヤ朝の武将。インダス川下流のヒンドゥー王ダーヒルがムスリムの舟を襲う海賊を取り締まらなかったため、ウマイヤ朝のイラク総督に命じられ、711 年 (708 年、712 年という説あり) にスィンド地方に遠征した。アラブによるスィンド支配は、11 世紀のガズナ朝の支配まで続いた [長島 2002: 112]。

V-1-4. 「わたしたちパキスタン人は、アラブから来た」

[パンジャーブ パキスタン学 9-10 年生]

■10～15 世紀 イスラーム諸王朝とスーフィー聖者（イスラーム神秘主義者）

V-1-5. 「昔々、ガズナは世界にその名が知れ渡る有名な街でした。そこでは、サブクタギーン *subkutagīn* という王 *bādshāh* が統治 *hukūmat* していました。彼は、鹿狩りが趣味でした。…サブクタギーン王は、子鹿を捕まえ、馬の背に乗せて町に向かって出発しました。母親鹿は、遠くからこれを見ていました。自分の子鹿が狩られ、連れて行かれるのを見た時、母鹿は不安になり、自らの危険を省みずに馬の後について行きました。サブクタギーンは母鹿のわが子への愛情を目の当たりにし…子鹿を放してやりました」

[スィンド ウルドゥー語 3 年生]

V-1-6. 「インド亜大陸におけるイスラームについて、スーフィーらの及ぼした影響を特筆すべきである。スーフィーはイスラームへの改宗において大きな役割を果たした。彼らの純潔な生き方や、素晴らしい道徳観に感化され、多くのヒンドゥー教徒がイスラームを受け入れた」

[パンジャーブ パキスタン学 9-10 年生]

V-1-7. 「パキスタン・インド亜大陸に、イスラームの光を広めたスーフィー聖者たちの中で、ハズラト・アリー・フジュウィーリー<sup>23</sup>はその筆頭にあげられる。その御方はイスラームの布教において遺憾なくお力を発揮された。その御方の人格と行幸に感化され、とても多くの住人がムスリムになった」

[パンジャーブ ウルドゥー語 6 年生]

V-1-8. 「ハズラト・ダーター・ガンジュ・バクシュは、スルターン・イブラーヒームの治世 *hukūmat* にラーホールにいらっしやり、ここに住まわるようになりました。当時はラーホールに限らず、どこでも偶像崇拜 *but parastī* の時代でした。その御方は、ここの人々にイスラームを布教 *tablīgh* し始めました。人々は、その御方の知識 *ilm* と素晴らしい道徳観 *akhlāq* にとても感銘を受け、イスラームを受け入れるようになりました。その御方の近くに来たものは誰でも、宗教 *dīn* についてのたくさんの知識 *ma‘alūmāt* を得ることができました」

[スィンド 社会科 2 年生]

V-1-9. 「世界の他の地域でもそうであったように、わたしたちの土地 *zamīn* にも多くのウラマー *‘ulamā* や聖者 *ṣūfiyā* がおいでくださりました。彼らは、邪教 *kafr* や多神教 *shark* の地に光をもたらしました。古い時代ですと、シャイフ・アリー・フジュウィーリーの名が高名でしょう。この方はダーター様の名前で知られ、ダーター・ガンジュ・バクシュとも呼ばれます。この御方はラーホールを布教 *tablīgh* の中心地となさいました」

[パンジャーブ ウルドゥー語 4 年生]

■16～19 世紀 ムガル朝

V-1-10. 「ムガル朝は南アジアの偉大な支配者だった」

[スィンド 社会科 5 年生]

V-1-11. 「アクバルは素晴らしい皇帝だった」

[スィンド 社会科 6 年生]

V-1-12. 「『愛 *muḥabatt*』: バーブルは高名な王 *bādshāh* でした。彼の息子フマユーンは病気になってしまいました。バーブルは熱心に治療 *‘ilāj* させましたが、息子の体 *tan* は良くなりませんでした。とても優秀なお医者さま *hakīm* の治療でも回復しないとわかると、息子を愛するバーブルはとても落ち込みました。…ある善良な男がアッラー *allāh ta‘ālā* に犠牲 *qurbān* を捧げるよう助言 *mashwarah* しました。…バーブルは少し考えてから答えました。「最も愛しくて *piyārī* 高価な *qīmatī* ものは私自身の命 *jān* です。」そう言うと彼は立ち上がって身を清め *wuzū*、フマユーンのベッドの周りをまわりだし、祈り *du‘ā* を始めた。「…私は自分の命を差し出そう。私の祈りを受け入れ *qubūl*、私の息子に健康 *ṣeḥat* を与え給え」。…フマユーンの体は回復し始めた。…数日後にはフマユーンは全快し、バーブルは熱の症状で亡くなった」

[パンジャーブ ウルドゥー語 2 年生]

V-1-13. 「歴史のある建物を見に、国 *mulk* 中の人々が遠くからやってきます。それらの建物の中で、ムガル朝 *mughal bādshāh* 時代に建てられたラーホール城 *qil‘e*、城壁 *faṣīl* とその門の他、シャーリーマール庭園やバードシャーヒー・モスク、ジャハーンギール帝の墓、ヌール・ジャハーンの墓廟…などが

<sup>23</sup> 1009-1072 頃。ガズナ出身の神秘主義者。ダーター・ガンジュ・バクシュの尊称で知られる。旅を通じて各地で学識を積み、ペルシア語による神秘主義関連の著作を残した [藤井 2002: 845]。

あります。ラーホールは歴史的な町として、世界中で有名です]

[スィンド 社会科 2 年生]

- V-1-14. 「ハズラト・ミヤーン・ワーリス・シャー<sup>24</sup>は、パンジャープの有名なスーフィー詩人 *ṣūfī shā'ir* です。スーフィーとは、心が清く澄んで *pāk ṣāfī* いて、シャリーア法に従い、アッラーに心を寄せている人のことです」

[パンジャープ ウルドゥー語 4 年生]

#### ■小結

- ・古代史の記述が少ない<sup>25</sup>
  - ・パキスタン史の始まりは 8 世紀のスィンドへのイスラームの到来
- ・南アジアで勃興したムスリム諸王朝を強調
- ・スーフィーやワリー（聖者）の役割を評価 [PTBB 2002: 15-17; 2005: 98-100; STBB 2003b: 25]
  - 例) ラーホールのシャイフ・イスマーイール・ラホーリー
  - 例) スィンドのラール・シャハバーズ・カラダール [PTBB 2002: 5]
- ・ムガル朝の歴史は頻出
  - 例) ムガル朝歴代皇帝の偉人伝 [STBB 2003i: 23-25; 2003j: 86-87]
  - 例) ムガル朝末期の思想家シャー・ワリーウッラー [STBB 2003i: 140-141]

## V-2. イギリス植民地支配と独立運動に関する記述

### ■19 世紀 イスラーム近代主義者の登場

- V-2-1. 「南アジアは、偉大なイスラーム思想家を生んできた」

[スィンド 社会科 8 年生]

- V-2-2. 「サル・サイイドは偉大な思想家である」

[スィンド ウルドゥー語 9-10 年生]

- V-2-3. 「サル・サイイド・アフマド・ハーンのような政治思想家や教育の専門家たちは、ある集団経済の *ma'āshyāt* が占領 *qabẓah* されると、その集団の教育 *ta'alīm* や社会 *ma'āshrat* や文化 *ṣaqāfat* も占領されてしまうということに危機感を覚えていました。サル・サイイドは、ムスリムの発展 *taraqqī* と日常生活の向上に着目しました。彼は、この第一歩としていくつもの町にマドラサ *madrasah* をつくりました。後に、アリーガルにカレッジを建てました。サル・サイイド・アフマド・ハーンは、教育の振興 *farogh* とともに、ムスリムとヒンドゥーは異なる民族 *qaum* であるという、ムスリムの特性も強調しました」

[パンジャープ 社会科 5 年生]

- V-2-4. 「1857 年の大反乱の後、ナズィール・アフマドはアッラーハーバードの副監査官として勤め、その間に英語を独学した。その後、カーンプル郡の長官になった。彼は有名な英語の本をウルドゥー語に翻訳し、2 年後には副徴税官になった。ナズィール・アフマドはデリーに移住してから、執筆に専念するようになった。1897 年に彼の知的・文学的な貢献に対して、政府から『知識の太陽』の褒章が与えられた」

[パンジャープ ウルドゥー語 6 年生]

- V-2-5. 「パキスタンが出来る前、スィンドのムスリムの教育 *ta'alīm* 制度は良くありませんでした。学校やカレッジはとても少なかったのです。...ハサン・アリーは国 *qaum* の仕事において重要な役割を果たしました。...彼は、ムスリムに知識 *ilm* の光を広げるために、カラーチャーに『スィンド・マドラサ *sindh madrasah*』を設立しました。わたしたちの国の *mulk* の膨大な数の人々が、ここで教育 *ta'alīm* を得て、そして今日でも学んでいます。偉大なる指導者ムハンマド・アリー・ジンナーもこのマドラサで勉強しました」

[スィンド ウルドゥー語 3 年生]

### ■20 世紀(1)

- V-2-6. 「パキスタンの大衆 *awām* はリヤーカット・アリー・ハーンを国の指導者 *qā'id-e millat* の名前で呼んでいます」

<sup>24</sup> 1722-1798.

<sup>25</sup> スィンドの教科書には、州内にあるモヘンジョダーロー遺跡の記述があった [STBB 2003a; 2003b; 2003c].

- V-2-7. 「1951年8月16日のことです。ラーワルピンディーの大きな集会 *jalsah* で、リヤーカット・アリー・ハーンは演説をするために立ちあがったその時、国 *mulk* の敵 *dushman* が発砲して彼を殉教 *shahīd* させたのです。彼は国家 *mulk* と国民 *qaum* をどれほど愛していたことでしょうか、彼は死に際にこのような言葉 *alfāz* を残しました。『神 *khudā* よパキスタンを守り *khifāzat* たまえ』
- [スィンド 社会科 1年生]
- V-2-8. 「国 *millat* の母ファーティマ・ジンナー：ファーティマ・ジンナー女史は、偉大なる指導者 *qā'id-e a'azam* (ジンナー) の妹でした。彼女はムンバイで教育を受けました。彼女は自分のお兄さんのことがとても大好きでしたので、いつも偉大なる指導者と一緒にいました。...彼女は兄と一緒に解放 *āzād* ために尽力しました。そして、ムスリム女性の間には解放の気運を芽生えさせたのです」
- [スィンド ウルドゥー語 3年生]
- V-2-9. 「さあ、このパキスタンの塔 *mīnār-e pākistān* のはなしを聞いてみましょう。...『わたしは一本の塔に過ぎないけれど、わたしの中にはパキスタンのすべての歴史が隠れています。パキスタンを作るためにとてもたくさんの犠牲 *qurbān* を出してきた人々の歴史です。わたしが今立っているこの場所で、1940年3月23日にムスリムの指導者 *rehnumā* たちが重大な決定をするために集まったのです。彼らは、自分たちの祖国 *waṭan* をイギリスから解放することを望んでいました』
- [スィンド 社会科 2年生]
- V-2-10. 「パキスタンの塔はラーホールのイクバル公園にあります。ここにはパキスタン運動 *tehrīk-e pākistān* の記憶が詰まっています」
- [パンジャブ ウルドゥー語 4年生]
- [スィンド 社会科 2年生]

## ■20世紀(2) イクバル

- V-2-11. 「イクバルはパキスタン建国を最初に着想 *khayāl* した人物です。...彼は自分の詩 *naẓm* を通してムスリムを目覚め *bedārī* させました」
- [スィンド 社会科 1年生]
- V-2-12. 「イクバルは彼の詩の中でムスリムに自由と解放を呼び掛けた」
- [スィンド ウルドゥー語 2年生]
- V-2-13. 「イクバルは彼の詩を通して、ムスリムを怠惰の眠りから醒まさせた。彼は自由がとても偉大な恩恵であり、隷属は卑劣な呪縛であると述べた。...彼は、亜大陸のムスリムがイギリスから自由を勝ち取り、自分たちだけの国に住み、そこでイスラームの原理に則った人生を送ることを望んでいた」
- [パンジャブ ウルドゥー語 3年生]
- V-2-14. 「1940年3月23日、多くのムスリム指導者たちがとても重要な決定を下すために集まっていた。彼らは、自分たちの国をイギリスから解放させようとしていた。彼らはすでに隷属の人生に嫌気が差しており、自由を求め、自分たちの国に自分たちの政府を打ち立てようとしていた。その政府の元で、イスラームとしての人生を送れるような。...ムスリムは、真実の自由を得ることを望みました。そこにはムスリムの政府があり、アッラーの法が統治する。この時代のムスリムは、この問題について長年悩み続けていた。そしてついにアッラーマ・イクバルが自分たちのための別の国を作るという解決策を導き出した」
- [パンジャブ ウルドゥー語 4年生]
- V-2-15. 「パキスタンという夢 *khāb* を最初に見たのはイクバルだった。彼の前にも、ハイダル・アリー、ティープー・スルターン、スラージッドゥラー、ファズル・ハック・ヒーラーバーディー、サル・サイイド・アフマド・ハーンがムスリムの解放 *āzād* に尽力したが、しかし、パキスタンという構想 *taṣawwur* を打ち立てたのは、イクバルが最初であった」
- [パンジャブ ウルドゥー語 4年生]

## ■20世紀(3) 建国の父ジンナー

- V-2-16. 「偉大なる指導者 *qā'id-e a'azam* の本名はムハンマド・アリー・ジンナーです。彼はカラーチーに生まれました。彼は子供のころからとても努力家でした。がんばって勉強をしました。彼は初等教育をカラーチーで受けたあと、イギリスで弁護士 *wakālat* の試験に合格しました。(イギリスから)戻ってきてから、国 *qaum* のために貢献 *hidmat* し、ムスリムを隷属 *ghulāmī* から解放し、わたしたちのすばらしい国 *waṭan* を作りました」
- [パンジャブ ウルドゥー語 2年生]

- V-2-17. 「偉大なる指導者は、イクバルの構想をととても気に入りました。そして、1940 年にこの構想のための集会を開きました。…彼は『インドの北西、北東の州を合わせて、新しいイスラームの国を作りたいと思う。この地域ではムスリムの人口が大多数です。わたしたちはこの地域にイスラーム政府を建設する権利を欲している』と言いました」  
[パンジャーブ ウルドゥー語 4 年生]
- V-2-18. 「偉大なる指導者は、彼の目的に揺るぎない自信を持っていました。彼は、とても明晰な頭脳でイギリス人とヒンドゥー教徒の陰謀を食い止めました。彼は、自分の健康など気にも止めていませんでした。パキスタンを勝ち取るために、昼夜を問わず努力しました」  
[パンジャーブ ウルドゥー語 3 年生]
- V-2-19. 「わたしたちの目的 *maqṣad* は、一つの国 *mulk* を作ることでした。そこではわたしたちが自由に人生を送ることができて、イスラーム文化 *islāmī tehzīb* が息づき、イスラームの制度 *iqdām* を反映させられるのです。パキスタンを得るために、偉大なる指導者はムスリムを一つの旗 *jhandā* のもとに集めました。…偉大なる指導者は、イスラームを心から愛して *muḥabatt* しました。彼は、パキスタンを理想的 *namūne* なイスラーム国家 *islāmī riyāsat* にすることを望んでいました」  
[パンジャーブ ウルドゥー語 5 年生]
- V-2-20. 「わたしたちの国 *mulk* は偉大なる指導者の努力によって作られました」  
[スィンド 社会科 1 年生]
- V-2-21. 「1947 年 8 月 14 日、わたしたちの国 *mulk* パキスタンは建国されました。あまりにもたくさんの努力を続けたため、彼の健康 *ṣeḥat* は悪化しました。そして 1948 年 9 月 11 日に死去 *inteḡāl* しました。彼のお墓 *mazār* はカラーチーにあります」  
[スィンド 社会科 2 年生]

#### ■小結：

- ・近代改革主義者
  - 例) サル・サイイド・アフマド・ハーン [STBB 2000: 81-82; 2003g: 99-103; PTBB 2002: 15-17]
  - 例) ジャマールッディーン・アフガーニー<sup>26</sup> [PTBB 2006: 15-16]
- ・パキスタン運動の指導者 [STBB 2003e: 95-98]
  - 例) 初代首相リヤーカット・アリー・ハーン [PTBB 2003a: 63; STBB 2003b: 18-19]
  - 例) ファーティマ・ジンナー [PTBB 2003a: 85; n.d.(2008)c: 58; STBB 2003d: 25-27]
  - 例) ウルドゥー語ジャーナリストの父ザファル・アリー・ハーン [PTBB 2003a: 20]
- ・イクバル
- ・ジンナー
  - 例) 演説 [STBB 2003a: 15-17; PTBB n.d.(2008)b: 19-20]、詩 [PTBB n.d.(2008) d: 45-46]

### V-3. カシュミール問題とバングラデシュ独立に関する記述

- V-3-1. 「アーザード・カシュミール *āzād kashmīr* では、この数年間で多くの学校が開校しています。その壁には、いつも同じ言葉 *na'arah* が書かれています『カシュミールはパキスタンになるだろう！』」  
[パンジャーブ ウルドゥー語 4 年生]
- V-3-2. 「1947年にパキスタンの建国された時、わたしたちの軍隊 *fauj* と軍備はとても小規模なものでした。わたしたちの政府 *ḥukūmat* は建国時から、隣国の敵インド *hamsāyeh dushman bhārat* と対抗できるように軍隊と軍備を拡充するためにととても力を入れていました。今、パキスタン軍は、世界でも最良の軍隊のひとつとなっています」  
[パンジャーブ 社会科 5 年生]
- V-3-3. 「1965 年 9 月 1 日の夜中 3 時、静寂を大砲が切り裂いた。…彼は、大砲の玉が通り過ぎる音聞いて、自分たちの大砲が敵の陣地を砲撃していることを理解した。…この襲撃で 19 人の将校と青年が殉じた」  
[パンジャーブ ウルドゥー語 6 年生]
- V-3-4. 「1971 年 8 月 20 日未明のことでした。…インド *bhārat* との国境 *sarḥad* からわずか 64 キロしか離れていないところにいました。その青年パイロットは、最初から警戒をしており、すべて見抜いてい

<sup>26</sup> 1838-1897。イラン出身。ヨーロッパ列強の侵略にさらされつつあるイスラーム世界において、社会の内部改革と帝国主義への抵抗のための団結を訴えた思想家、革命家 [栗田 2002: 36]。

ました」

[パンジャーブ ウルドゥー語 4年生]

- V-3-5. 「パキスタンのこの誇るべき息子、ジハードの情熱に酔いしれ、幼少より敵を殺すことを願ってきた若者は、1971年8月20日に殉死しました。パキスタン政府は、この祖国愛、ジハードの情熱、勇敢さを称え、パキスタンの軍人で最も上位の称号「獅子の勲章」を与えました」

[パンジャーブ ウルドゥー語 6年生]

- V-3-6. 「わたしたちの国 *waṭan* パキスタンと隣国インド *paṛosī mulk bhārat* との間に、1971年9月に戦争 *jang* が起きました。戦いの中で、わたしたちの軍隊 *fouj* のとても勇敢 *bahādur* な若者たちが、祖国の防衛 *dafā'* のためにその生命 *jān* を犠牲 *qurbān* にしてきました。その勇敢な者の一人に、サワール・ムハンマド・フセイン・シャヒードがいます」

[スィンド 社会科 2年生]

- V-3-7. 「北部山岳地帯の村出身の青年軍人ラーラク・ジャーンは...パキスタンのムジャッヒディーンと敵の軍のせめぎあう、カールギルの詰所で任務にあたっていた。...1997年7月7日、敵が砲兵隊と共に再び襲撃を掛けてきた。敵はどんな手段を使ってでもこの詰め所を占領したがっていた。ラーラク・ジャーンは大砲の玉で致命的な傷を負いつつも、敵との交戦を続けた。...彼は殉死したが、敵は負けて逃走した。ハワールダール・ラーラク・ジャーンは、その類希なる勇敢さ、勇猛さ、尊い犠牲を讃えられ、獅子の勲章が与えられた。これは軍人にとって最高位の褒章である」

[パンジャーブ ウルドゥー語 3年生]

■小結：

- ・インドとの国境については、殉死した軍人の話題の中で触れられている [STBB 2003f: 113-117]
- ・バングラデシュに関わる記述は少ない

#### V-4. 諸民族・諸宗教の平等に関する記述

- V-4-1. 「わたしたちのパキスタンには、4つの州があります。パンジャーブ、スィンド、北西辺境州、バローチスターン。それぞれの州の中に、いくつもの県があります」

[パンジャーブ ウルドゥー語 3年生]

- V-4-2. 「彼らはパターン人の兄妹です。ふたりとも、長いクルターとゆったりしたシャルワールを着ています。...こっちにはスィンド人の兄弟です。...彼らはパンジャーブの兄弟です。...彼らはバルーチとマクラーン地方の子供です。...こっちにいるのはカシュミールの子供です。...この子たちは、山岳地帯に住んでいます。...どの子もみんなパキスタンの色々な地域 *ilāqa* に住んでいます。そして、みんなパキスタンが大好きです。大きくなったらみんな国 *mulk* の発展 *taraqqī* のために努力しましょう」

[パンジャーブ ウルドゥー語 4年生]

- V-4-3. 「わたしたちは、自分たちの宗教 *dīn* と国 *waṭan* を愛しています。わたしたちはみんな勉強 *ta'alīm* が大好きです。わたしたちの姉妹も教育を受けています」

[スィンド ウルドゥー語 4年生]

- V-4-4. 「わたしたちの国 *waṭan* の名前はパキスタンです。パキスタンはイスラームの国 *islāmī mulk* です。ここには、人口は少ないですが非ムスリム *ghair muslim* も住んでいます。わたしたちの国の旗には2色です。白は非ムスリムを、緑色はムスリムの住民を表しています。アッラー *allāh ta'ālā* がわたしたちの国をととも美しくおつくりになりました。...わたしたちは、パキスタン人であることが誇らしいです。スィンド、パンジャーブ、北西辺境州、バローチスターン、カシュミールがすべて発展することが、わたしたちの祈りです」

[パンジャーブ ウルドゥー語 2年生]

- V-4-5. 「わたしたちの愛しい国 *waṭan* の名前はパキスタンです。これは、イスラームの国 *islāmī mulk* です。わたしたちの国には、主にムスリムが住んでいます。少しだけ、ヒンドゥー教徒や、シク教徒、キリスト教徒、パールシー教徒、その他の宗教 *mazhab* の人々も住んでいます。私たちはみんなパキスタン人です。パキスタンは、大きな国です。スィンド、パンジャーブ、バローチスターン、北西辺境州が国の4つの州です」

[スィンド ウルドゥー語 2年生]

- V-4-6. 「わたしたちのパキスタンは、イスラームの国です。...わたしたちは、みんな兄弟です。パンジャーブ、北西辺境州、スィンド、バローチスターン、カシュミールはパキスタンの一部です。この中

に住んでいる人はみんな、パキスタン人です。わたしたちはみんな自分たちの国を愛しています」

[パンジャーブ ウルドゥー語 1 年生]

- V-4-7. 「グル・ハーンは言いました『...わたしたちムスリムは兄弟 *bhā'ī bhā'ī* です。どの家の出身でも、ある部族 *qabīle* の出身だとしても、肌の色が白くても黒くても、みんな兄弟です。みんなが一つです』。わたしたちの国 *mulk* はイスラームの名のもとにつくられました。ここに住んでいる人たちの絆 *rishtah* は強固なものです。パターン、バルーチ、スィンディー、パンジャービー、みんな一つです」

[パンジャーブ ウルドゥー語 2 年生]

- V-4-8. 「イスラームは『パキスタンのアイデンティティの基礎』である」

[スィンド パキスタン学 9-10 年生]

- V-4-9. 「おじいさんはフィザーに言いました。『バグダードはイスラーム国家イラクの都市だよ。お前は他にイスラームの国をいくつ覚えているかな』『パキスタン、イラン、サウディアラビア、それから...』『それにアフガニスタン、バングラデシュ、エジプト』『そうだ！シリア、ヨルダン』『よくできました。今、世界にはおよそ 56 のイスラームの国がある。アッラーはこれらの国々に数え切れない自然の宝物を与え給うた』...『おじいちゃん、ムスリムはどこにいたとしても互いに兄弟だって先生が言っていたよ』<sup>27</sup>

[パンジャーブ ウルドゥー語 3 年生]

- V-4-10. 「神 *khudā* のご加護により、今現在、世界のすべてのムスリムには同盟 *ittihād* の気運が高まっています。イスラーム諸国 *islāmī mumālik* では、お互いがより近づきつつあります。イスラーム首脳会議 *islāmī sar-barāhon ki kānfarens* は 1974 年にラーホールで開催 *muna'aqid* されました」

[パンジャーブ ウルドゥー語 5 年生]

- V-4-11. 現在、すべての国にとって他国との関係はとても重要です。パキスタンはわたしたちの国です。イスラームという名のもとにつくられ、平和と協調の旗手たる国です。わたしたちは、世界のすべての国と普遍的に、そして隣国やイスラーム諸国とは特に友好的な関係を築こうとしています。...亜大陸のムスリムは、いつの時代も他のムスリムと友情を結んでいます。世界中のムスリムにとって、連帯はその願いです。パキスタン建国時から、パキスタン政府はイスラーム世界の同盟のために甚大な努力を続けてきました。...そして第二回イスラーム首脳会議はラーホールで開催されたのです」

[パンジャーブ ウルドゥー語 6 年生]

#### ■小結：

- ・多種多様な民族的・言語的出自を結びつけるため建国の理念でもあるイスラームを引き合いに
- ・イスラーム諸国との連帯、国際社会での役割を説く記述
- ・イスラームを愛国的な文章と結びつけ  
例) 「わたしたちの国」(詩) [PTBB n.d.(2008)a: 40]
- ・国の求心性として掲げられているのがイスラーム  
→ただし抽象的

#### V-5. 何が語られ、何が語られないのか

- ・インダス文明、ガンダーラ文明などの古代文明
- ・ヒンドゥー王朝
- ・現代史
- ・植民地時代、イギリス植民地帝国
- ・他宗教について
- ・インド、バングラデシュ  
→ガンディーやネルー、A.K.アーザードといったインドの独立運動の指導者  
→隣国のムスリムの現状

<sup>27</sup> この課に続く「教師へのアドバイス」の箇所には、「パキスタンがイスラーム世界において初の原子力保有国家であることを補足しなさい」と書かれている。

## VI. おわりに

### VI-1. 歴史認識と国民像

- 1) アラビア半島から続くムスリムとしての自覚
  - ・パキスタン人はインド人ではない
  - ・アラブという「正当な」血を引く民族
  - ・異なる民族を包括した、ムスリムとしての兄弟愛
- 2) ムガル朝の継承者としての誇り
  - ・ガズナ朝以来イギリスの支配が及ぶまでインド亜大陸の統治者としての役割
  - ・ムガル朝という南アジアで最も華やかな宮廷文化の栄えた支配者の継承者
  - ・インド中心の南アジアではなく、地域のリーダーとしてのパキスタンの文化的根拠
- 3) 19世紀から続くイスラーム復興思想
  - ・ワリーウッラー、サル・サイイド、イクバルなど南アジアで生まれたイスラーム復興
  - ＝インドやイギリスへの抵抗軸か？独立運動の思想的核心か？

### VI-2. まとめ

#### ■南アジアのイスラーム

→アラブ＋ムガル朝という建国神話

- ・パキスタン・ムスリムが建国後の歩みの中で共有化してきた歴史観
- ・パキスタンという共通認識の成立する空間の自画像
- ・宗派の違いや多民族か統合かといった分極化の傾向を包括
- ・イスラームという緩い紐帯を持って、その理念的矛盾を融合

## VII. 参考文献

### <日本語文献>

- 栗田禎子 2002. 「アフガーニー」大塚和夫ほか編『岩波イスラーム辞典』岩波書店, 35-36.
- 桜井啓子 1999. 『革命イランの教科書メディア—イスラームとナショナリズムの相剋』岩波書店.
- 鈴木洋子 1999. 「パキスタンの家庭科教育と女性のくらし」『日本家庭科教育学会誌』42 (2) 66-67.
- 長島 弘 2002. 「ムハンマド・イブン・カースィム」大塚和夫ほか編『岩波イスラーム辞典』岩波書店, 984.
- ハミード、アブドゥル、アブドゥル・ガフル・チョウハダ 1985. 『パキスタン：世界の教科書』加賀谷寛・浜口恒夫編訳, ほるぷ社.
- 深町宏樹 1992. 「パキスタンにおける政治と軍」山中一郎編『パキスタンにおける政治と権力：統治エリートについての考察』アジア経済研究所, 157-180.
- 藤井守男 2002. 「フジュフィーリー」大塚和夫ほか編『岩波イスラーム辞典』岩波書店, 845.
- 松村耕光 2003. 「「パキスタン国民」をつくる」広瀬崇子・山根聡・小田尚也編著『パキスタンを知るための60章』明石書店, 112-117.
- 山中一郎 1992. 「パキスタンの主要政治エリート」山中一郎編『パキスタンにおける政治と権力：統治エリートについての考察』アジア経済研究所, 3-106.
- 山根聡 1994. 「20世紀初期ラーホールにおけるウルドゥー文学の出版状況」『印度学仏教学研究』42 (2) 1009-1007.

### <外国語文献>

- ‘Abbās, Muẓaffar. 1993. *Textbook Development in Pakistan and United Kingdom*. Lahore: Sang-e-Meel Publications.
- Aqeel, Moinuddin. 2009. “<Islamic Moderate Trends in South Asia> Commencement of Printing in the Muslim World: A View of Impact on Ulama at Early Phase of Islamic Moderate Trends.” *Kyoto Bulletin of Islamic Area Studies*. 2(2), pp.10-21.
- Aslam, Shaikh Navid. 2008. *Pākistān ke asar-i qadīmah*. Lahore: Book Home. (in Urdu)
- Aziz, Khurshid Kamal. 1987. *A History of the Idea of Pakistan*. Lahore: Vanguard.
- . 1993. *The Murder of History: a Critique of History Textbooks Used in Pakistan*. Lahore: Vanguard.
- Burki, Shahid Javed. 1991. *Pakistan: the Continuing Search for Nationhood*. Boulder, Lahore: Westview Press; Pak Book Corp.
- Ciragh, Muhammad Ali. 1985. *Qarārdād-i Pākistān*. Lahore: Sang-i Mīl Pablīkeshanz. (in Urdu)
- . 1993. *Pākistān: Tārīkh, jamhūriyyat, siyāsāt, ā’in, 1947-1990*. Laāhaur: Sang-i Mīl Pablīkeshanz. (in Urdu)

- Clark, Grace. 1986. Pakistan's Zakat and 'Ushr as a Welfare System. In Anita M Weiss ed., *Islamic Reassertion in Pakistan: the Application of Islamic Laws in a Modern State*. N.Y.: Syracuse University Press, pp. 79-95.
- Hashmi Faridabadi, Sayyid. 1987. *Tārīkh-i musalmānan-i Pākistān o Bhārat (Hind)*. Karachi: Anjuman-i Taraqqi-i Urdū Pākistān. (in Urdu)
- Hussain, Iqbal S. 2007. *Pakistan, a Proud Nation, but Failing State: Crises, Crises & Crises*. Gujranwala: Humanity International.
- Jahan, Rounaq. 1972. *Pakistan: Failure in National Integration*. New York: Columbia University Press.
- Kamal, Ajmal 1995. Censorship in Pakistani Urdu Textbooks, *The Annual of Urdu Studies* 10: 125-133.
- Mubarak, Ali. 1994. *Ākhrī 'ahad-i mughliyah ka hindustān*. Lahore: Fikshān Hā'us. (in Urdu)
- Nayyar, A. H., Ahmad, Salim eds. 2004. *The Subtle subversion the State of curricula and textbooks in Pakistan; Urdu, English, Social Studies and Civics*. Islamabad: Sustainable Development Policy Institute.
- Rahman, Tariq. 1996. *Language and Politics in Pakistan*. Karachi: Oxford University Press.
- . 1999. *Language Education and Culture*. Karachi: Oxford University Press.
- . 2000. *Unpleasant Essays: Education and Politics in Pakistan*. Lahore: Vanguard.
- . 2002. *Language, Ideology, and Power: Language Learning Among the Muslims of Pakistan and North India*. Karachi: Oxford University Press.
- . 2006. Urdu as an Islamic Language, *Annual of Urdu Studies* 21: 101-119.
- Talbot, Ian. 1998. *Pakistan: A Modern History*. London: C. Hurst.
- Zaidi, Sayyid Nazar. 1993. *Azīm qaum ki kahāni*. Lahore: Ferozsons. (in Urdu)

### <一次資料>

#### 1. ウルドゥー語教科書 (1-10 年生)

- PTBB (Punjab Text Book Board). 2000. *Urdū 5*. Lahore: Uthmān Mujīd Printerz.
- . 2003a. *Urdū 6*. Lahore: Sheikh Muhammad Hassin and Sons.
- . 2004. *Urdū 7*. Lahore: Sa'aid Book Centre.
- . 2005. *Urdū 8*. Lahore: Qaumī Traders Lahore.
- . 2006. *Merī Kitāb 5*. Lahore: Maktaba-e Mu'in al-Adab.
- . n.d.(2008) a. *Merī Kitāb 1*. Lahore: Kutub Khana Khurdshida.
- . n.d.(2008) b. *Merī Kitāb 2*. Lahore: Khalid Buk Depo.
- . n.d.(2008) c. *Merī Kitāb 3*. Lahore: Jadid Buk Depo.
- . n.d.(2008) d. *Merī Kitāb 4*. Lahore: New Kitabistan Publishing Company.
- . n.d. *Urdū Qavā'id o Inshā 9-10*. Lahore: Wisdom Publishing Company Lahore.
- STBB (Sindh Text Book Board). 2003a. *Darsī Kitāb 2*. Karachi: Kashif Book Agency.
- . 2003b. *Urdū 3*. Karachi: Qāzī Associates.
- . 2003c. *Urdū 4*. Sukkur: 'Ajā'ib Store.
- . 2003d. *Urdū 5*. Karachi: Urdu Academy Sindh.
- . 2003e. *Urdū 7*. Karachi: Al-Hafiz Printing.
- . 2003f. *Urdū 8*. Karachi: Day Times Press (Private) Limited.
- . 2003g. *Urdū lāzmi 9-10*. Karachi: Urdu Academy Sindh.

#### 2. 社会科、パキスタン学教科書 (1-12 年生)

- PTBB (Punjab Text Book Board). 2000b. *Ma'āshratī 'Ulūm 5*. Lahore: Uthmān Mujīd Printerz.
- . 2002. *Muqāla'ah-e Pākistān 9-10*. Lahore: Teksition Lā Buks Publishers.
- . 2003b. *Ma'āshratī 'Ulūm 6*. Lahore: Emplā'iz Wilfer Sosā'itī.
- . 2003c. *Ma'āshratī 'Ulūm 8*. Lahore: Sheikh Mubārak 'Alī and Sons.
- STBB (Sindh Text Book Board). 2000. *Ma'āshratī 'Ulūm 8*. Hyderabad: Universal Book Depo.
- . 2002a. *Ma'āshratī 'Ulūm Karāchī 3*. Karachi: Urdu Academy Sindh.
- . 2002b. *Muqāla'ah-e Pākistān 11-12*. Karachi: Elum o amal Book Depo.
- . 2003h. *Ma'āshratī 'Ulūm 4*. Karachi: Qazi Associates.
- . 2003i. *Ma'āshratī 'Ulūm 5*. Karachi: Sayyad and Sons.
- . 2003j. *Ma'āshratī 'Ulūm 6*. Karachi: Nafis Academy.
- . 2003k. *Ma'āshratī 'Ulūm 7*. Karachi: Mashhur Press.
- . 2003l. *'Ulūm Shahriyat 9*. Karachi: Āfset Printers and Publisherz.
- SSAS (Sheikh Shaukat Ali & Sons). n.d.a. *Me'yārī Ma'āshratī 'Ulūm: Suālān Jawāban 1*. Karachi: Sheikh Shaukat Ali & Sons.
- . n.d.b. *Me'yārī Ma'āshratī 'Ulūm 2*. Karachi: Sheikh Shaukat Ali & Sons.
- . n.d.c. *Me'yārī Ma'āshratī 'Ulūm: Suālān Jawāban 2*. Karachi: Sheikh Shaukat Ali & Sons.

#### 3. 社会科、パキスタン学 (高等教育/13 年生以上)、道徳などの教科書

- Akhtar, Salim. 2008. *Muqāla'ah-e Pākistān*. Lahore: Dogars Sons.

- Anjum, Zāhid Ḥusain. 2002. *Tārīkh-e Pākistān : 1947 tā hal*. Lahore: Aiwar New Book Palace.
- Anwar, Mian Muhammad. 2007. *Pakistan Studies: Enviromnent of Pakistan*. Lahore: White Rose Publishers & Book Sellers.
- Ashraf, Bano. 2002. *Muṭāla‘ah-e Pākistān lāzmī* Lahore: Bhatti Sons Publishers.
- Bhatti, Muhammad Sohail. n.d. *Muṭāla‘ah-e Pākistān*. Lahore: Bhatti Sons Publishers.
- Bhatti, Muhammad Sohail. 2005. *Pakistan Studies*. Lahore: Bhatti Sons Publishers.
- Hayat, Mehr Muhammad. 2007. *Muṭāla‘ah-e Pākistān*. Lahore: ‘Ilmī Kitāb Khānah.
- Ilahida, Ahmad Riyaz. n.d. *Tārīkh-e Pākistān: 1947-1990*. Lahore: ‘Ilmī Kitāb Khānah.
- Kausri, Mohammad Aslam. 2005. *Topic to Topic 200 Plus Questions on Pakistan Studies*. Lahore: Publishers Emporium.
- Kazmi, Muhammad Raza. 2007. *Pakistan Studies for B.A./B.Sc./B.Com./B.Sc. (home economics)*. Oxford; New York: Oxford University Press.
- Kelly, Nigel. 2004. *The History and Culture of Pakistan*. London: Peak Publishing.
- Mir, Muhammad Saeed. 2005. *Pakistan Studies MCQ's*. Lahore: Publishers Emporium.
- Qizilbash, Basharat Hussain. 2001. *Pakistan Studies GCE 'O' Level (Worked Solutions)*. Lahore: Khalid Farooq.
- Rabbani, Muhammad Ikram. 2008. *Pākistān afe‘arz* Lahore: The Caravan Book House.
- Rabbani, Muhammad Ikram, Smith, Nigel, Khan, Abdul Qadir and National Book, Foundation. 2007. *Introduction to Pakistan Studies*. Lahore: The Caravan Book House.
- Shafqat, Saeed. 1998. *Contemporary Issues in Pakistan Studies*. Lahore: Azad.
- Shahid, M. Imtiaz. 2006. *Pakistan Studies: Objective*. Lahore: Advance Publishers.
- Yasmin, Mrs. and S. Farooki. 2007. *Value Education For Children*. Lahore: Book Centre. (c2002)

#### 4. 統計資料・報告書

- ABE (Advisory Board of Education). 1955. *Proceedings of Fifth Meeting of the Advisory Board of Education Held at Bahawalpur on 4th and 5th March 1953*. Karachi: Manager of Publications, Ministry of Education.
- Aly, Javed Hasan. 2007. *A WHITE PAPER Revised: Document To Debate And Finalize The National Education Policy*. Islamabad: National Education Policy Review Team.
- GoPMIB (Government of Pakistan Ministry of Information and Broadcasting). 1989. *Quaid-I-Azam Mohammad Ali Jinnah: Speeches and Statements as Governor General of Pakistan, 1947-48*. Islamabad: Directorate of Film and Publications.
- GoPSD (Government of Pakistan, Statistics Division). 2011. *Pakistan Social and Living Standards Measurement Survey (2010-11)*. Islamabad: Government of Pakistan, Statistics Division, Federal Bureau of Statistics.
- PEC (Pakistan Educational Conference). 1948. *Proceedings of the Pakistan Educational Conference Held at Karachi 27th November-1st December 1947*. Karachi: Government of Pakistan, Ministry of Interior.
- UNDP (United Nations Development Programme). 2004. *Human Development Reports*.

### VIII. 参考資料

#### VIII-1. パキスタン・イスラーム共和国概要

人口： 1億7千万人  
 面積： 80万 km<sup>2</sup>  
 首都： イスラマバード  
 国教： イスラーム（憲法第2条）、主権：アッラー（前文）、大統領はムスリム（第41条）  
 ムスリム96%（スンナ70%、シーア30%）、キリスト教徒2%、ヒンドゥー教徒2%  
 政治： パンジャーブ州、スィンド州、ハイバル・パフトゥーン・フワー州、バローチスターン州  
 および連邦直轄地域と部族直轄地域からなる連邦制  
 公用語： ウルドゥー語、英語

#### VIII-2. パキスタンの州別人口（1998年）

| 州               | 面積                      | 人口           | 連邦議会議席数 | 公用語      |
|-----------------|-------------------------|--------------|---------|----------|
| パンジャーブ          | 25.8%                   | 55.6%        | 146席    | ウルドゥー    |
| スィンド            | 17.7%                   | 23.0%        | 69席     | スィンディー   |
| ハイバル・パフトゥーン・フワー | 9.4%                    | 13.4%        | 47席     | ウルドゥー    |
| バローチスターン        | 43.6%                   | 5.0%         | 32席     | ウルドゥー    |
| パキスタン全土         | 796,096 km <sup>2</sup> | 132,352,000人 | 324席    | ウルドゥー・英語 |

注1：地域の区分としてはこの他にイスラマバード連邦首都と連邦直轄部族地域がある

注2：1998年のバングラデシュの面積は144,000平方キロメートル、総人口は1億3千万人

出所：パキスタン統計局1998年センサスより発表者作成